

# み ち し る べ

M i c h i S h i r u B e

33人の議員による真摯な議論をわかりやすくお伝えします。



12月  
定例会

◆総合的な子育て環境の整備に向けた  
補正予算を可決 P2

◆常任委員会  
4つの委員会を開催しました P6

◆一般質問  
市政のここが聞きたい P10

▲蔵王から世界へ！2018平昌冬季五輪でも活躍が期待されるスキージャンプ競技  
(写真：FISスキージャンプワールドカップレディース2017蔵王大会 高梨沙羅選手)



# 向けた補正予算を可決

## 農業支援や国際親善交流事業など 山形市発展計画の推進を図る補正予算を審査

**委員** 住民票やマイナンバーカードなどに旧姓を併記することによって、どのようなメリット

住民票の写しやマイナンバーカードなどに旧姓を併記できるようにするため、システムを改修します。

**住民記録システム改修事業**  
735万円

補正予算審査の中からいくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

### 12月の主な補正予算 一般会計 19億1,280万円

<主なもの> (千円以下切り捨て)

●民間立保育所運営委託料	2億8,210万円
●施設型給付費（認定こども園）	2億3,543万円
●自立支援給付費	1億5,225万円
●障がい児通所給付費	1億1,262万円
●福祉灯油購入費等給付事業	7,050万円
●地域型保育給付費（家庭的保育施設・小規模保育施設）	5,560万円

があるのか。

**市民課長** 旧姓で身分を証明できるものが拡大されることで、勤務先などへの証明書提出時に、**姓が違うことによるトラブルが解消**されることが見込まれる。

**委員** いつ頃から実施される見込みなのか。

**市民課長** 現在、国でシステム改修と政省令の改正を並行して行っており、平成30年度以降速やかに実施することとされているが、**具体的な期日はまだ示されていない。**

**民間立保育所施設整備事業費補助金**  
1039万円

防犯対策を強化するため、防犯カメラなどを設置する保育所へ支援します。

**委員** 16園が対象とのことだが、他の園は既に防犯カメラ設置などの対策を行っているのか。

**こども保育課長** 現在、民間立保育所が39施設、認定こども園が13園あるが、防犯カメラの設置やフェンス設置など、**外部からの侵入対策を行っている園は多い。**このたびは、民間立保育所などからの要望を精査し対応している。

**保育士等の処遇改善などに伴う経費**  
5億7314万円

民間立保育所などの利用者の増加や、処遇改善加算などの国基準価格の引き上げに伴い、委託料や給付費を増額します。

**委員** 保育士などの賃金は、どの程度改善で

れるのか。また、副主任保育士・専門リーダーと職務分野別リーダーでは、なぜ処遇改善の金額に差があるのか。

**こども保育課長** 今回、**最大4万円が加算**されるが、平成24年と比較すると、**公定価格上は最大で7万2000円改善**されることになる。改善の金額の差については、今までの横並び体制から、副主任保育士や職務分野別リーダーなどの職種を設け、ピラミッド状の組織をつくることにより、**保育士が目標を持ち、キャリアを積んでいく仕組み**が組み込まれていくことも改善の目的となっている。



▲防犯カメラの設置で子ども達の安全安心を確保

# 総合的な子育て環境の整備に

## 総額23億6,290万円

**委員** 今後の交流事業の中でも、今回のように選手団を派遣する場合があると思う。選手の選抜方法などのルール化は考えていくのか。

**国際交流センター所長** これまでは具体的な目的を持った交流がなかったため、明確なルール付けができていなかった。8月に北京で行われた卓球大会や今回の野球大会へ派遣した際の課題などを検証し、よりよい基準をつくり、次回以降の派遣のあり方を検討していきたい。

**委員** 選抜チームの派遣を予定している台南市の硬式野球大会は、どのような位置付けの大会なのか。

**国際交流センター所長** 平成22年から台南市野球協会などの協力のもと、台南市主催の大会として毎年開催しており、今回で7回目となる。

友好協定を締結した台南市との交流を促進するため、台南市で開催される中学生対象の硬式野球大会に選抜チームを派遣します。

国際親善交流事業  
526万円

**委員** 石綿管が使用された農業用管水路は、市内にどのくらい残っているのか。

**農村整備課長** 最上川中流土地改良区内の門伝用水路と西部地区導水管の2カ所が残っている。

石綿を含有する農業用管水路などの対策事業（県が実施）に負担金を支出します。

特定農業用管水路等特別対策事業費負担金等 307万円

**委員** 山形市農協のセルリール地は、平成31年度までにパイプハウスを81棟設置する計画となっているが、現状はどうか。

**農政課長** 現在52棟のパイプハウスが設置されている。今回の補正予算では16棟の設置を計画しており、残りが13棟となる。

競争力のある園芸産地育成のため、大規模園芸団地のハウス整備へ支援します。

園芸大規模団地整備支援事業費補助金 4004万円



▲斜面崩壊対策が進む山寺の地蔵堂地区

**委員** 機種によっては使用頻度が年に数回の機械もある。今回は、大豆の作付面積拡大などを目的とした乗用管理機導入へ支援するとのことだが、その管理機は他の作物にも使用することができるのか。

**農政課長** 枝豆などにも用いるほか、水稲の害虫防除・薬剤散布など、広範囲に使用すると聞いている。

新たな農業機械を導入し、販売金額と農業所得の拡大を目指す農業経営者を支援します。

農業経営者育成支援事業費補助金 277万円

**委員** このたび負担する3カ所の工事完了予定はいつ頃になるのか。また、負担割合が違ふ理由は何か。

**防災対策課長** 本沢の西向が平成30年度、山寺の地蔵堂が31年度、滝山の岩波が32年度となっている。負担割合は、岩波が国庫補助事業のため5%、西向と地蔵堂は県単独事業のため20%となっている。

人家への被害の恐れがある急傾斜地への崩壊対策（県が実施）に負担金を支出します。

山形県施行急傾斜地崩壊対策事業費負担金 734万円

福祉灯油購入費等給付事業  
7050万円

冬季間における低所得世帯の経済的負担の軽減を図るため、灯油購入費などに対して支援します。

**委員** 給付費の半分は県から補助されるが、市では給付費のほかに事務費など500万円の負担がある。事務費についても県で補助するよう働き掛けてはどうか。  
**生活福祉課長** 助成の早期決定と合わせて事務費の補助についても**市長会を通して**、要望している。

商業高等学校校舎等改築事業(PFIアドバイザー委託)  
972万円

PFI方式による校舎改築に向け、事業者の決定手続きなどのアドバイズを受けます。

**委員** PFIアドバイザー業務とは、具体的にどのような内容なのか。  
**山形商業高事務長** 事業の概要やスケジュール、応募者の資格要件などを整理した実施方針、従来の仕様書に代わる要求水準書の策定、民間事業者の公募から審査・選定、業者との契約締結までの一連の業務に対して、PFI法に則った形で進めるためにアドバイザーから助言をもらうものである。

**委員** 委託契約はいつ頃になる予定なのか。  
**山形商業高事務長** プロポーザル方式で業者選定を行うことを検討しており、**1月中旬末**には決定したいと考えている。

新たな産業団地開発計画策定事業の債務負担行為限度額  
470万円

債務負担行為により限度額を設定し、新たな産業団地の開発に向けて、企業立地ニーズの把握や開発規模の調査などを行います。

**委員** これまでの産業団地の開発でも、立地を希望する企業のニーズや必要な面積などに対して調査を行ってきたのか。  
**雇用創出課長** 市町村が主導する開発では、特に、**農地を開発する場合には必要面積算定のための調査**を行い、基礎資料を集めた上で、農政協議を行っている。

**委員** これまでの産業団地への企業立地の傾向を見ると、市内移転も多い。企業ニーズを含めて調査することになるのか。  
**雇用創出課長** 産業団地は市内企業の移転の受け皿でもあることから、**ニーズがある市内企業にも調査**を行いたいと考えている。

山形っ子学び・体験支援施設運営費補助金  
320万円

霞城セントラルへ移転する学習空間マナビーの移転費用を支援します。

**委員** 移転することにより面積や座席数に変化はあるのか。  
**学校教育課長** 移転先の会議室などの関係で活用できる**面積は減る**が、座席数は**これまでと同じ**くらいになると考えている。

**委員** マナビーの現在の利用者数はどのくらいなのか。  
**学校教育課長** 平均で年間**5万7000人**が利用しており、開館以来約85万人が利用している。  
**委員** 移転による影響をどのように考えているのか。  
**学校教育課長** 移転により利用する学生の傾向が変わることが想定されるが、利用者の多くは自転車通学の学生であり、このたびは**自転車での移動が可能な範囲での移転**と考えている。



▲平成30年度から霞城セントラル23階に移転する学習空間マナビー

山形県施行都市計画街路事業費負担金  
3431万円

街路事業（県が実施）に対し、負担金を支出します。

**委員** 負担金として10%を負担することのだが、その根拠は何か。  
**都市政策課長** 法律で経費の一部を当該市町村に負担させることができるかと規定されており、山形市域で行う県事業は、**県との協議で国庫補助の残りの部分の10%**を、市が負担すると決めている。

**委員** 県施行の旅籠町八日町



▲民間の資金やノウハウを活用した校舎改築を目指す市立商業高等学校

※ PFI…Private Finance Initiativeの略称。公共施設などの建設・維持管理・運営などを、民間の資金・経営能力および技術的能力を活用して行う新しい手法。



▲早期の街路整備が強く望まれる旅籠町八日町線

線街路事業の整備が遅れ、路線沿いの住民は生活に不安を感じている。整備の進行状況はどうか。また、住民への丁寧な説明が必要ではないか。  
**都市政策課長** 県も国からの予算を確保できず、七日町工区、本町工区とも**事業完了が遅れる**と聞いている。また、地元地権者を中心に街づくり委員会が組織されており、県との話し合いの際は市の担当職員が必ず加わり、**地元の要望をしっかりと県につないでいる**。重要要望事項として整備促進に向けた要望も県に行っており、今後もお一層の促進に向けて取り組んでいく。

**委員** 増額補正となつた要因は何か。  
**国民健康保険課長** 平成29年度から所得割の軽減措置の特例が見直され、所得が91万円以下の被保険者の所得割の軽減率が5割から2割になり、保険料が増額したことが大きな要因である。

事業の実績に伴う  
予算の増額です。

**後期高齢者医療事業会計**  
2億2481万円

**委員** 8億円の減額補正となつている要因は何か。  
**市民生活部長** 保険給付費が見込みよりも少なかったことと、平成28年度の繰越金が当初の見込みより多く、**給付基金の繰入金が減つた**のが要因である。

事業の実績に伴う予算の減額です。

**国民健康保険事業会計**  
▲8億1821万円

### 3月定例会の日程 (予定)

2月22日(木)  
～3月19日(月)

日程は変更になる場合があります。  
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎023(642)8404



はながた  
ベニちゃんの **教えて!!** 議会  
あれこれ

### Q 特別委員会ってなんだベニ?

**A** 特別委員会は、特に重要な事項の審査や調査を行う必要があるときに、本会議の議決に基づいて設置される委員会のことだよ。

現在、山形市議会には予算を審査する予算委員会と決算を審査する決算委員会、平成31年4月の中核市移行に向けた諸課題の調査・研究を行う中核市移行検討特別委員会の三つの特別委員会があって、どの委員会も傍聴することができるよ。ぜひ傍聴しに来てね。

#### 上山市

##### 上山市民俗行事 かせどり 加勢鳥

**とき** 2月11日(日・祝)  
午前10時～午後3時30分  
**ところ** 上山城～市内(中心市街地や温泉街などを練り歩きます)  
**内容** 江戸時代初期から伝わる、ケンダイというミノをかぶった若者に祝いの水をかけ、五穀豊穡と商売繁盛、火伏せを祈る上山の冬の風物詩です。  
**問い合わせ先** 上山市観光物産協会  
☎672-0839

#### 山辺町

##### まんだらの里 雪の芸術祭2018

**とき** 2月3日(土)  
**ところ** 作谷沢ふれあい自然館とその周辺  
**内容** スカイランタンや雪のオブジェなど、光と炎に囲まれる幻想的な芸術祭です。  
**問い合わせ先** 作谷沢公民館  
☎666-2121

#### 中山町

##### 第30回柏倉九左衛門家ひな祭り

**とき** 3月3日(土)～18日(日)  
午前9時から午後4時まで  
**ところ** 旧柏倉九左衛門家(中山町大字岡8)  
**内容** 江戸時代大庄屋を勤めた柏倉九左衛門家のお雛まつり。暮らしとともに伝承されてきたお雛飾りが展示されています。  
【料金】 高校生以上500円  
小・中学生300円  
**問い合わせ先** 第30回柏倉九左衛門家ひな祭り実行委員会  
☎662-2235

みみより情報

総務 厚生

産業文教 環境建設

## 4つの委員会を開催しました



▲市民・地域活動を支援する市民活動支援センター

**委員** 業務改善に向けた指定管理者との協議は頻繁に行う

**企画調整課長** 市民・コミュニティ活動の活性化によるまちづくりを重点政策として掲げ、**地域住民の活動の場の整備や地域課題を解決し、市民活動の活性化を促進**することを市民活動支援センターの役割として位置付けている。

市民活動支援センターの指定管理者を指定

くらし

**委員** 活動の範囲は、これから規則で定めるのか。  
**職員課長** 推進委員に対象となる活動を周知し、**具体的な算定方法**などは農業委員会が中心となり**規則で定めていく**。

**委員** 推進委員の活動時間数に応じて報酬額を加算することだが、活動時間数をどのように把握するのか。  
**職員課長** **推進委員自身が活動実績を申告**することになる。

農地利用最適化推進委員の報酬額を加算

行政委員会

**委員** 同じ階に学習空間マンビィが移転するが、巡回などの職員負担への影響はどうか。  
**企画調整課長** マンビィの運営団体に**人員を配置**するため、センター職員の負担は**若干軽くなる**と見込んでいる。

べきと考えるがどうか。  
**企画調整課長** 毎月報告書を提出してもらおうほか、利用登録団体の連絡協議会に参加し、**意見交換**も行っている。

**委員** 現状で、認知症患者などの入居者が収入申告をしなかった例はあるのか。  
**管理住宅課長** これまでに**実績はなく**、今後も多くはない

認知症患者などの市営住宅入居者の収入申告義務を緩和

まちづくり

**委員** 活動時間に現れない部分も規則で定めておく必要があると思うがどうか。  
**職員課長** **在職月数分と活動時間数分**に分けた形で規則を定める予定である。



▲市営住宅の入居者で認知症の患者などは収入申告義務が緩和されました（写真：山形市営住宅 銅町住宅）

**委員** 制度改正による入居者とのトラブルなどは想定しているのか。  
**管理住宅課長** 今回の改正は入居者の不利益になるものではないため、特に**トラブルが発生するとは考えていない**。

**委員** 高額所得と思われる入居者に対しても調査を行えるようになるのか。  
**管理住宅課長** 今回の緩和はあくまで**認知症患者などが対象**である。収入申告をしない入居者には、周辺にある同程度の住宅の家賃で、法令上の最高額を該当させている。

ものと考えている。  
**委員** 高額所得と思われる入居者に対しても調査を行えるようになるのか。



▲合同で開催した霞城セントラルの現地視察

閉会中の11月28日に、総務委員会・厚生委員会と合同で、保健所となる霞城セントラル3・4階部分を視察しました。また、12月定例会では、山形市中核市移行実施方針案の報告もありました。

委員から、食品衛生検査に關する県への委託期間や食肉衛生検査施設の運営などについて質問があり、担当課から、委託期間は中核市移行後3年をめどとし、その後の検査施設の設置などを検討していくこと、食肉衛生検査施設は獣医師が18名必要で、県に獣医師の派遣を依頼するほか、県獣医師OBの採用も検討しながら獣医師の確保に努めていくなどの回答がありました。

中核市移行検討  
特別委員会

市政トピックス

市立保育所6園を4園に集約整備

老朽化が進んでいる市立保育所6園（白鳩・さくら・あこや・早苗・すみれ・美鈴保育園）の施設の安全性（耐震化）と保育環境の向上を図るため、東西南北の拠点保育所として4園に集約する整備が進められており、特に需要の多い低年齢児の定員の増員が計画されています。

また、既存のつばさ保育園を中央の拠点保育所に位置付けることで、中央・東・西・南・北の五つを拠点保育所とし、地域ブロック内にある民間立保育所などに対する保育水準向上のための各種支援や事業などを行う予定です。

最初に整備される仮称東部拠点保育所については、現在のさくら保育園を緑町一丁目の県緑町会館の東側駐車場の一部に移転改築し、通常の保育に加えて子育て支援センターの運営や一時保育、病後児保育などの業務も行っていくとされており、平成30年度から工事に着手し、平成31年4月開園を目指しています。

〈開園予定〉

- 平成31年4月 東部拠点保育所（さくら保育園）
- 34年4月 西部拠点保育所  
（白鳩・早苗・すみれ保育園）
- 36年4月 南部拠点保育所（あこや保育園）
- 38年4月 北部拠点保育所（美鈴保育園）



▲各年齢20名の定員となる仮称東部拠点保育所のイメージパース

委員会名	日程	視察地	視察項目
議会運営委員会 (1班)	10月3日(火) ～5日(木)	埼玉県越谷市 千葉県成田市 栃木県宇都宮市	議会運営および 議会改革について
議会運営委員会 (2班)	10月11日(水) ～13日(金)	長野県長野市 富山県富山市 群馬県前橋市	議会運営および 議会改革について

本市議会では、先進的な取り組みを行う他の自治体などへの視察を行っています。今回は議会運営委員会の視察内容をお知らせします。

委員会  
視察報告

議会基本条例の検証

議会運営委員会（2班）



長野市議会では、議会基本条例検証・議会活性化検討委員会を設置し、議会基本条例の検証を行っています。

優先的に取り組む項目を、短期的（早急）・中期的（1年以内）・長期的（2～3年以内）に分け課題を明確にすることで、議会をさらに活性化し、市民の付託への確に答えることを目指していました。

また、特別委員会ごとに行う市民との意見交換会や提言書の提出など、本市においても今後検討すべき事項として、大変参考になるものでした。

高校生・大学生議会

議会運営委員会（1班）



越谷市議会では、次代を担う若者に議会への関心を深めてもらうため、平成22年から隔年で大学生議会を開催しており、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられた平成28年度からは、新たに高校生も加えて高校生・大学生議会として開催しています。

模擬議員は市内の高校・大学からの選出や市内在住の大学生などを公募により選出し、市政に対する一般質問では、議員が答弁者として出席しています。

議会活性化の一環として、本市においても今後検討すべき事項として、大変参考になるものでした。

## 人事案件

**固定資産評価審査委員会委員の選任に同意**

固定資産評価審査委員会委員のうち、1人の任期が平成29年12月21日で満了することに伴い、引き続き平吹氏の選任について全会一致で同意しました。

平吹 和之氏（五日町）

**人権擁護委員の候補者の推薦に同意**

人権擁護委員のうち、6人の任期が平成30年3月31日で満了することに伴い、次の方の推薦について全会一致で同意しました。

安達 明美氏（大字吉野宿）  
植田美由紀氏（あこや町）  
小関 徳雄氏（北町）  
柴田 公利氏（七日町）  
平 洋一氏（東原町）  
丹野 関夫氏（落合町）

考えられる。同時に、これからも年金減額が行われれば、将来の年金生活者になる低賃金の非正規雇用で働く若者にとっても大変深刻な問題となる。

- よって、国においては、若い人や高齢者が今後とも安心して生活を維持できる年金制度となるよう、強く要望する。
- 1 全額国庫負担の最低保障年金制度を早期に創設すること
  - 2 隔月支給の年金を国際水準である毎月支給に改めること
  - 3 年金支給開始年齢のこれ以上の引き上げは行わないこと
  - 4 マクロ経済スライド適用は再検討すること



## 意見書（要旨）

12月定例会で可決された意見書は1件です。関係機関に送付しました。

**若い人も高齢者も安心できる年金制度の創設を求める意見書**

昨年の臨時国会で年金受給資格期間は、25年から10年に

短縮され、約64万人の無年金者が年金を受給できるようになった。しかしながら低年金の解消を目指す最低保障年金制度の創設は、遅々として進んでいない。我が国の年金制度に最低保障年金の制度が盛り込まれていないことについては、国連の社会権規約委員会からも1度ならず指摘を受けているところである。

厚生労働省は、2013年からの4年間で、特例水準の

解消で2・5%の削減、マクロ経済スライド適用で、0・9%の削減、さらに今年の0・1%削減など3・5%もの削減を行った。

さらに少子化と平均余命の伸びを口実に、マクロ経済スライドを使って、今後30年間も年金の減額を図ると聞いている。

年金はその殆どが消費にまわるため、年金減額は地域経済にも少なからず影響すると

## 請 願

12月定例会で審議された請願は、請願者からの撤回の申し出があった2件を除き、新たに提出された2件です。委員会での審査結果は以下の通りです。（※は意見陳述が行われたものです。）

請 願	件 名 提 出 者	紹介議員	所 管 委 員 会	結 果
第10号 継続	猫の去勢・不妊手術助成金制度の創設に関することについて 村山動物愛護推進有志の会 代表 沖津由美 ほか2人	今野 誠一 折原 政信 小野 仁	厚 生	撤 回
第12号 新規	猫の不妊手術助成金制度の創設を求めることについて 村山動物愛護推進有志の会 代表 沖津由美 ほか2人	今野 誠一 折原 政信 小野 仁	厚 生	採 択
第13号 新規※	「若い人も高齢者も安心できる年金制度」を国の責任で創設することなどについての意見書の採択について 全日本年金者組山形支部 支部長 松木静雄	佐藤 亜希子 川口 充律	厚 生	採 択

- 議決の結果は、9ページ「議案の賛否一覧表」をご覧ください。
- ◆請願第12号については、提出された文書の写しを市長に送付しました。今後、請願への対応の経過と結果について、議会に報告される予定です。
- ◆請願第13号については、国の関係機関に意見書を送付しました。



### 議決議案一覧 (12月定例会)

議案番号	件名	議決結果
議第67号	平成29年度山形市一般会計補正予算 園芸大規模団地整備支援事業費補助金、国際親善交流事業、民間立保育所運営委託料、商業高等学校校舎等改築事業、福祉灯油購入費等給付事業、社会保障・税番号制度システム改修事業などに係る補正予算です。	可決 (一覧表参照)
議第68号 と 議第75号	平成29年度山形市水道事業会計補正予算、平成29年度山形市国民健康保険事業会計補正予算、平成29年度山形市後期高齢者医療事業会計補正予算、平成29年度山形市介護保険事業会計補正予算、平成29年度山形市區画整理事業会計補正予算、平成29年度山形市駐車場事業会計補正予算、平成29年度山形市公設地方卸売市場事業会計補正予算、平成29年度山形市農業集落排水事業会計補正予算 今年度の事業実績に基づく歳入歳出の見込みや人件費、前年度繰越金の精算などに係る補正予算です。	可決 (全会一致)
議第76号	指定管理者の指定について (市民活動支援センター) 施設の管理を指定管理者に行わせるものです。	可決 (全会一致)
議第77号	山形市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について 農業委員会農地利用最適化推進委員の報酬額を加算するものです。	可決 (全会一致)
議第78号	山形市福祉医療給付金支給条例の一部改正について 重度心身障がい(児)者医療給付金の支給対象者が受ける外来療養などに係る一部負担金に年間の上限を定めるものです。	可決 (全会一致)
議第79号	山形市営住宅条例の一部改正について 公営住宅法改正に伴い、認知症患者などである入居者の収入申告義務を緩和するとともに、規定の整備をするものです。	可決 (全会一致)
議第80号	平成29年度山形市一般会計補正予算 人事院勧告および県人事委員会勧告を考慮した給与改定に伴う人件費の補正予算です。	可決 (一覧表参照)
議第81号 と 議第84号	平成29年度山形市国民健康保険事業会計補正予算、平成29年度山形市後期高齢者医療事業会計補正予算、平成29年度山形市介護保険事業会計補正予算、平成29年度山形市公設地方卸売市場事業会計補正予算 人事院勧告および県人事委員会勧告を考慮した給与改定に伴う人件費の補正予算です。	可決 (全会一致)
議第85号	山形市特別職の職員の給与に関する条例及び山形市教育委員会教育長の給与、旅費、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について 人事院勧告および県人事委員会勧告を考慮し、特別職の職員の期末手当の支給割合を改定するものです。	可決 (一覧表参照)
議第86号	山形市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について 人事院勧告および県人事委員会勧告を考慮し、子に係る扶養手当および勤勉手当などを改定するものです。	可決 (全会一致)
議第87号	山形市固定資産評価審査委員会委員の選任について 内容は8ページの「人事案件」をご覧ください。	同意 (全会一致)

議会議案番号	件名	議決結果
議会議案第10号	若い人も高齢者も安心できる年金制度の創設を求める意見書の提出について 詳細は8ページの「意見書(要旨)」をご覧ください。	可決 (一覧表参照)

### 議案の賛否一覧表

◆ 賛成と反対の双方や退席などがあつた場合に表示しています。

議案 議会議案番号	会派 議員名	翔政会				市民連合山形市議団				緑政会		共産党		公明党		無	遠藤吉久副議長	渡邊一元議長	議決結果												
		仁藤俊	浅野弥史	田中英子	伊藤香織	中野信吾	菊地健太郎	遠藤和典	丸山善弘	長谷川幸司	須貝太郎	斎藤武弘	鈴木善太郎	高橋昭弘	高橋公夫	佐藤秀明	伊藤美代子	川口充律		斎藤栄治	石澤秀夫	加藤孝	渋谷朋博	武田聡	小野仁	斎藤淳一	阿曽隆	佐藤亜希子	今野誠一	松田孝男	武田新世
議第67号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		可決										
議第80号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退	退	○	○	○	○	可決										
議第85号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	可決										
議会議案第10号		×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	可決										
請願第12号		×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択										
請願第13号		×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	採択										

◆ ○=賛成 ×=反対 退=退席 ◆ 渡邊元議長は採決に加わらない。 ◆ 「無」は会派所属なし。

# 市政のことが聞きたい



一般質問とは 議員が、市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針について、市長や担当する各部長などに質問することです。12月定例会では、12月5日と6日の2日間で8人の議員が質問を行いましたので、主な質問を紹介します。



遠藤 和典 議員

## 裁判所 移転で生ず可能性 大きなスペース大きな利用

Q 裁判所に移転をお願いし、その敷地と新県民文化施設完成後閉館と聞く県民会館の敷地を一体的に整備してはどう

A 中心市街地活性化戦略本部においてグラウンドデザインを策定する中で、常識にとら

か。「裁判所移転で生ず可能性大きなスペース大きな利用」

A 今後とも、屋内避難の有

われず、魅力あふれる土地の利用を検討していく。「いざ論ぜん 熱き思いで街なかをお白洲さえも動かすほどに」

Q 弾道ミサイル落下時の被害を最小限にするための情報提供や避難訓練をしようか。「あと5分 着弾までの行動は 日頃の備え被害抑える」

A 今後とも、屋内避難の有

Q 幼稚園・保育園に対し、Jアラートが流れた際の行動指針を示してはどうか。「伝達が 子供を守る第一歩 情

報つかみ親も安心」

Q 高齢者なども参加しやすい、国内初のドライブスルー投票所を設置してはどうか。「車窓から 乗り出しすぐに一票を 山形はつのチャレン

ジイかが」

効性を周知するとともに、国や県に合わせた避難訓練の実施を検討していく。「北風も家に簞ればそよ風か 有事にいきる知恵を広めん」

A 教育委員会と調整を図り、行動の指針を示していく。「アラートに 足止めされし親も子も 常の備えで心安かれ」

### 質問者

### 質問の要旨

- 遠藤 和典** (翔 政 会) 危機管理体制の充実、投票率向上に向けて、中心市街地活性化のキープポイント、学力向上と中核市移行、続 農地の高度利用 ほか
- 高橋 公夫** (市民連帯山形市議団) 障がい者施策、新生児聴覚検査、保育士確保策、放課後児童クラブ、防災士、スポーツ施設のバリアフリー化 ほか
- 武田 新世** (公明党山形市議団) ロタウイルスワクチンへの助成、C型肝炎ウイルス対策、「送迎対応付き病児保育事業」の導入、市民防災センターの充実 ほか
- 浅野 弥史** (翔 政 会) 広告収入、総合スポーツセンター、国指定重要文化財「鳥居」の保護、市南部の児童遊戯施設、沿道業務地 ほか
- 今野 誠一** (日本共産党山形市議団) 新年を迎えるにあたって、農業振興に向けて、ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟認定に伴う組織再編 ほか
- 長谷川 幸司** (翔 政 会) イザベラ・バードが歩いた山形、高齢者福祉施設が抱える課題の解決策、土地・建物の有効利用、道の駅設置の進捗状況 ほか
- 武田 聡** (緑 政 会) 市長の政治姿勢、健康医療先進都市の実現に向けた取り組み状況は、厳しい自治体間競争の中で人口増加策を進めるには ほか
- 斉藤 栄治** (市民連帯山形市議団) 地域医療の向上、市民福祉の向上、教育環境の向上、イノシシ対策、公共交通改善への取り組み、都市計画路線見直し ほか

●一般質問は内容を要約して掲載しています。また、議会ウェブサイトでも録画映像がご覧いただけます。

※ 遠藤和典議員が質問の一部を短歌形式で行い、市長も同様の形式で回答した。



▲鼻の代わりに空気を加湿・加温する人工鼻



高橋 公夫 議員

## 人工鼻利用者の 負担軽減を図れ！



▲これからの 中心市街地活性化 キーポイントは跡地利用

- Q** 障がい者等日常生活用具給付事業の給付品目に人工鼻を追加し、人工鼻利用者の負担軽減を図ってはどうか。
- A** 医療保険が適用される場合もあるため、実態を調査し、障がい福祉としての支援の必要性などを調査研究していく。
- Q** 差別解消条例の啓発のため、地域のいきいきサロンや福祉懇談会、小・中学校などで、障がい者による出前講座を実施してはどうか。
- A** 出前講座は、障がい者理解の機会を広く市民に提供するものであり、実現に向けて
- Q** 障がい者の自立と社会参加促進に向け、手話言語等コミュニケーション手段の利用促進条例を制定してはどうか。
- A** 手話通訳者、要約筆記者の派遣、手話奉仕員の養成研修事業にも取り組んでおり、窓口にて耳マークや筆談ボード
- Q** 障がい者が持つ方も安心なバリアフリー観光に取り組むべきではないか。「ウエルカムあなたにとってのおもてなしひとりひとりに寄り添う姿勢」
- A** 関係団体や庁内関係部署の連携を図りながら、できることから取り組んでいく。「おもてなし 出来る事からひとつずつ バリアなき旅めざす山形」
- Q** さらに支援してはどうか。
- A** 国・県に対し、運営費における基準額の増額を要望し、29年度に基準額の増額が図られた。今後もさらなる運営の安定化に向け、継続して要望していく。
- Q** 山形警察署にみはらしの丘北55号線と松原四谷線、みはらしの丘北26号線と同32号線の交差点への横断歩道設置を働き掛けてはどうか。
- A** 管轄する山形警察署に対し、地区住民の意見として要望していく。
- Q** 消防団員などが防災士の資格を取得する際の受講費用などを助成してはどうか。
- A** 他市の実施状況などを調査・検討していく。
- Q** 上手な活用道開く 土地の規制に風穴あける
- A** 市独自で基本計画を策定することは可能であり、必要があれば策定に取り組んでいく。「時は今 地域の未来つくる種 育て拓かんこの産土を」
- Q** 全国20の道の駅が、高速道路からの一時退出が可能な「賢い料金」の道の駅に指定
- 障がい者団体などの協力を得ながら検討を進めていく。
- Q** 平成30年度より、障がい者の法定雇用率が引き上げられる。精神障がい者を積極的に雇用してはどうか。
- A** 29年度から精神障がい者、知的障がい者に対象を広げて採用試験を実施した。今後、他都市の状況なども参考にしながら率先して雇用を図り、障がい者の法定雇用率の向上に努めていく。
- Q** 障がい者を確保するため、保育事業者が借り上げる宿舎の費用に助成してはどうか。
- A** 処遇改善を進めながら、市外出身の新卒者などが本市の保育施設に就労してもらえよう支援を進めていく。
- Q** 放課後児童クラブを利用する多子世帯の負担軽減のため、保育料軽減補助制度の所得制限をなくしてはどうか。
- A** 施策の成果を考慮しながら、所得制限のあり方を検討するとともに、県に対して制度の拡充を要望していく。
- Q** 運営が厳しいと聞く小規模な放課後児童クラブに対し、

※1 地域未来投資促進法…国が、地域の特性を生かした事業の経済効果を最大化しようとする地方公共団体の取り組みに支援するもの。  
※2 差別解消条例…山形市障がい理由とする差別の解消の推進に関する条例。

## 市民・事業者を元気にする協同の街づくりを

武田 新世 議員



**Q** 富士市産業支援センター f・Biz をモデルに、中小企業の起業支援に取り組んでどうか。

**A** 平成30年度からの準備開始に向け、現在、調査・検討を進めている。

**Q** 産業団地開発計画を策定する際に、内発型産業振興のコンセプトやレンタル工場棟の整備を盛り込んでどうか。

**A** 効果や必要となる施設の規模、誘致企業とのマッチング方法など、先進地の事例などを調査研究していく。



▲ 済生館に開設された病児・病後児保育室「ひなたぼっこ」

## 既存の制度にとらわれない新しい発想で施策展開を

浅野 弥史 議員



**Q** きらやかスタジアムのフェンスに、企業名などの広告を募集してはどうか。

**A** 他球場の手法も参考にし

ながら、広告事業に関する基本方針に基づき、募集に向けた準備に取り組んでいく。

**Q** 総合スポーツセンターで

**Q** 十字屋山形店の閉店で山形駅前周辺の空洞化に拍車がかかることが懸念される。ビブレ跡地も含め、駅前周辺のにぎわい創出に向けて、どのように取り組んでいくのか。

**A** 中心市街地活性化戦略本部で、ブランドデザインの策定や具体的な戦略プロジェクトを検討・実施しながら、にぎわいの創出につなげていく。

**Q** ロタウイルスワクチン接種費用の半額助成の提案に対する検討状況はどうか。

**A** 国の検討状況を踏まえながら、慎重に検討していく。

**Q** 済生館で実施している病児・病後児保育事業に送迎サービスを導入し、事業の拡充を図ってはどうか。

**A** 送迎対応の保育士または

行われる各種大会の垂れ幕を掲示してはどうか。また、その財源に、野球場フェンス広告収入を活用してはどうか。

**A** 垂れ幕などの掲示も含めてどのような方法が有効であるか、掲示場所や手段、財源などを調査・検討していく。

**Q** 重要文化財の石鳥居を雨風や雪から保護するために、

看護士を手配する必要があるなどの課題があるため、他市の状況や保護者のニーズなどを調査研究していく。

**Q** 防災対策課の機能を消防本部内に移管・集約し、消防本部を消防と防災の拠点として機能させてはどうか。

**A** 災害が発生した場合の司令塔となる防災対策課が本庁舎外にあることで、他部局との連絡体制が手薄になるなど現状では難しいが、連携強化として職員の人事交流などの実施を検討していく。

**Q** 市民防災センター体験ブースや学習・展示ブースの内容を更新してはどうか。

**A** 30年度に学習・展示ブースの見直しを行うとともに、体験ブースは先進都市を参考

**Q** 覆屋を設置してはどうか。  
**A** 敷地が狭いことや法的な制約もあり困難であるが、今後とも雨風や雪などを防ぐための方策を模索していく。

**Q** 市南部に建設予定の児童遊戯施設はPFI方式を導入するのか。また、子ども図書館を併設し、子育てと教育を一体化した施設にしてはどうか。

に調査研究を行い、さらなる充実・強化に努めていく。

**Q** 救急現場に遭遇した際に迅速な措置が行えるよう、公用車にAEDを積載してはどうか。

**A** 有効性について、他市の状況をみながら研究していく。

**Q** マイナポータル<sup>※1</sup>の積極的活用に向けた環境整備を、どのように考えているのか。

**A** 国・県の動向を注視し、費用対効果や行政サービス向上の視点で対応していく。

**Q** ESD<sup>※2</sup>の推進に取り組む、全小中学校のユネスコスクール<sup>※3</sup>加盟を目指してはどうか。

**A** 各学校の希望を第一に考え、加盟の希望があれば支援していく。

**Q** 今後、募集に向けた実施方針を策定し、平成31年度にPFI事業者の決定・契約を予定している。また、図書館を併設することは困難であることから、設置する図書コーナーの中で、議員提案の子育てと教育を一体化させる考えをどれだけ反映できるか検討していく。

一体化した施設にしてはどうか。

※1 マイナポータル…マイナンバー制度で、個人ごとに設けられるポータルサイト。自分の特定個人情報の内容やそのやり取りの記録、通知などをPC・携帯端末を利用して閲覧できる。

※2 ESD…持続可能な開発のための教育 (Education for Sustainable Development) の略称。持続可能な社会づくりの担い手を育む教育。

※3 ユネスコスクール…ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校。



▲売れる山形米の拠点「カントリーエレベーター」



▲雨風や雪にさらされる重要文化財の石鳥居

## 新年度の制度見直しへの対応は

今野 誠一 議員

**Q** 医療的ケア児の実態調査アンケートの調査結果と、今後の取り組みはどうか。  
**A** 受け入れ施設の不足や移動支援の未整備、また、利用できる福祉サービスが限られているなど、家族の過大な負担が浮き彫りになった。課題を解決するための協議の場を30年度に設置し、検討を進めていく。

**Q** 障がい児を持つ親の子育て支援と就労支援の充実を図るため、通学支援を実施してはどうか。  
**A** 教育委員会や県の特別支援学校担当部署とも連携し、通学に係る支援を協議していく。併せて、先進自治体の取り組みを研究するなど、既存の制度にとらわれない支援の可能性を検討していく。

**Q** 沿道業務地を市南部に新設される児童遊戯施設まで拡大するよう、都市計画マスタープランを見直してはどうか。  
**A** 第1次緊急輸送道路でないこと、農振農用地区域に含まれていることから沿道業務地の位置付けをしていないが、今後の人口動態や社会情勢に大きな変化があった場合は、総合的に検証し、必要

に応じて都市計画マスタープランの見直しを実施していく。  
**Q** 浸水想定区域の京旦地区の農振除外で商業施設を誘致し、施設側から土盛りしてもらおうことで、安全を確保してはどうか。  
**A** 京旦地区は農業振興地域であり、ただちに土地利用を転換するのは困難である。

**Q** 就学援助制度の新入学児児童生徒学用品等費は、援助を必要とする入学前に支給を現実すべきと考えるがどうか。  
**A** 就学援助支給額のうち、平成30年4月からの新入学児児童生徒学用品費などの増額のほか、入学準備金を中学校入学前の31年2月に支給できるように検討している。

**Q** 次期高齢者保健福祉計画の柱となる政策は何か。  
**A** 「地域包括支援センター機能・地域ケア会議の強化」、「生活支援・介護予防サービスの推進」、「認知症施策の推進」、「介護サービスの整備・管理と人材確保」の五つを柱として掲げ、健康医療先進都市の実現に近づけていく。

**Q** 30年度の国の米政策の転換により、これまでの水田活用の農業政策や、とも補償制度への支援はどうなるのか。  
**A** 転作作物の面積補助から収量補助へ比重を移し、本作化を進める必要があり、各農協では、とも補償制度に代わる互助会制度を検討している。市としても、引き続き生産調整に対して支援していく。

**Q** 保護者の負担も減り、また米の消費拡大にも結びつくよう、市立保育園でも炊立てのご飯を提供してはどうか。  
**A** 衛生的にご飯を提供できる環境や保護者の役割、主食の負担など、保護者の意見を聞きながら検討していく。

**Q** 米の生産調整見直しは米政策の一大転換となる。どのような体制で支援するのか。  
**A** 農政懇話会や実行組合長への説明会を開催するなど、生産者、生産者団体、行政が

**Q** 農業者の収入保険制度をどう捉えているのか。  
**A** 現行の制度を含めた中からの選択であり、選択の幅が広がると考えている。制度内容の情報提供を行い、農業者のニーズ、実情に応じて選択してもらえよう努めていく。

**Q** 農業戦略本部がスタートした。行政、各対策会議の役割を整理し、農業振興公社を発展・拡充して一本化した組織体制に取り組んでどうか。  
**A** 今後、農業振興の推進体制のあり方を農業戦略本部で検討していく。

※1 沿道業務地…山形県緊急輸送道路ネットワーク計画で、第1次緊急輸送道路（県庁や防災拠点をネットワークとして連絡する道路）として位置付けられている道路の沿道など。

※2 とも補償制度…転作を多く実施した農家と少ない農家との不公平感を金銭のやり取りで公平化する制度。



## イザベラ・バード来日140年を 好機に観光誘客拡大を図れ

長谷川幸司 議員



▲バードの足跡をたどることができる他市の文学碑

Q イザベラ・バードが来日して140年となる。記念碑を設置するなど、ゆかりの場所や旅路を新たな観光資源にすることで、今後の観光誘客につなげてはどうか。

A 平成30年11月に、イザベラ・バード来日140年記念山形大会の開催が予定されており、関係者の意見を聞きながら交流人口の拡大につなげられるよう検討していく。

Q 介護保険事業所の収益率を上げるため、稼働率が低下しているショートステイから長期入所への転換を進めては

どうか。  
A 次期高齢者保健福祉計画で、長期入所への転換による特別養護老人ホームの増床、高齢者グループホーム1施設の整備を予定している。

Q 関係課の横の連携で、登録有形文化財である陣場の田中家住宅を保存・活用していくべきと考えるがどうか。  
A 所有者の意向に添いながら補助事業などの情報提供に努めるとともに、有効活用に向けた全庁的な相談体制づくりを進めていく。

Q 本市職員の分限処分も必要と考えるがどうか。  
A 職務遂行への支障が懸念される事例は、所属長が指導を行うとともに人事評価制度で厳格に評価し、勤務実績不

案内所を活用してソフト面のノウハウを積み上げ、日本一の観光案内所開設に向けた準備を行っていく。十字屋山形店の活用策は所有者の考えとなるが、検討状況に合わせてできる支援を行っていく。

Q 山形中央インターチェンジ付近の道の駅は、庁内で具体的な設置候補箇所を絞り込み、関係者への説明を行っている。山形上山インターチェンジ付近の道の駅は、国や県、地域などと意見交換をしながら、平成29年度中に基本構想を固める予定である。

Q 新産業団地開発の進行状況はどうか。また、どのような企業誘致を構想しているのか。  
A 今定例会で新たな産業団地開発計画策定事業の予算措置を行い、早期着手を目指し

良などの一定の事由により職責を十分に果たすことが期待できない場合には、分限処分を含めて適切に対処する。

Q 道の駅設置に向けた最新の進行状況はどうか。  
A 山形中央インターチェンジ付近の道の駅は、庁内で具体的な設置候補箇所を絞り込み、関係者への説明を行っている。山形上山インターチェンジ付近の道の駅は、国や県、地域などと意見交換をしながら、平成29年度中に基本構想を固める予定である。

Q 山形応援団に対し、新産業団地への誘致に向けた働き掛けを行っているのか。  
A 山形応援団の総会時などで随時トップセールスを行っている。誘致活動も事業の進行に合わせて適宜行っていく。

Q 台南市との交流は具体的にどう進めるのか。また、特に力を入れていく分野は何か。  
A 最初の交流事業として、台南市主催の青少年硬式野球大会に中学生選抜チームを派遣するなど、観光・経済・文化・教育・スポーツの5分野で交流を図っていく。

Q U-17就職の支援強化のために、本市独自の給付型奨学金制度を構築すべきと考えるがどうか。  
A 県の給付型奨学金制度の対象者の拡大や、国の大学などの授業料無償化の検討状況をみながら、よりよい方法を模索していく。

Q 2年続けて県内隣市への

Q 日本一の観光案内所やビブレ跡地の地権者への対応と、十字屋山形店閉店後の利用計画はどのようになっているのか。



## 主要施策の優先順位と 進捗状況を示すべき！

武田 聡 議員

A ビブレ跡地の地権者の方から今後の活用方法などの話を聞いており、関係者との調整を今後も継続していく。また、現在の駅待合室内の観光

Q 山形中央インターチェンジ付近の道の駅は、庁内で具体的な設置候補箇所を絞り込み、関係者への説明を行っている。山形上山インターチェンジ付近の道の駅は、国や県、地域などと意見交換をしながら、平成29年度中に基本構想を固める予定である。

Q 山形応援団に対し、新産業団地への誘致に向けた働き掛けを行っているのか。  
A 山形応援団の総会時などで随時トップセールスを行っている。誘致活動も事業の進行に合わせて適宜行っていく。

Q 2年続けて県内隣市への

\*1 イザベラ・バード…英国の旅行家・紀行作家。1878年（明治11年）に訪日し、「日本奥地紀行」を出版。  
\*2 分限処分…公務員が、心身故障などで職務遂行に支障がある場合に、公務の能率的運営確保のため法令に基づいて行う処分。  
\*3 医療ツーリズム…居住国とは異なる国や地域を訪ねて医療サービスを受けること。



▲診療所との連携強化に取り組む済生館



斉藤 栄治 議員

### 医療や高齢者福祉を充実し、市民の安全・安心な生活を守れ



▲山大医学部重粒子線がん治療施設外観図

- Q** 健康医療先進都市を目指す上で重要である地域医療の向上に、どう取り組むのか。
- A** 東北県庁所在市の中でも病院や診療所が多いことなどの強みを生かし、医療環境のPRや維持・発展に取り組んでいく。また、予防医療や健康寿命の延伸に向けた政策展開も図っていきたい。
- Q** 医療機関などと共同事業体を形成し、連携事業をマネジメントしてはどうか。
- A** 現在の山形市健康づくり推進協議会の構成員に学識経験者を加え、新たな組織の設

- Q** 高速交通網整備の構想と
- A** 安価な分譲地が開発されたことや子育て遊戯施設、大規模商業施設が立地した影響と分析している。本市では平成29年度から開発許可の規制緩和を行っており、今後も必要な施策を検討していく。

- Q** 待機児童の新たな定義により、保育需要のピークアウトの時期を変更するのか。
- A** ピークを平成31年度と推計しており、教育・保育枠の確保策を見直しながら、新たな保育士確保対策事業を検討・実施することで、待機児童の解消につなげていきたい。
- Q** 高齢者の支援に携わる多職種が顔の見える連携をする地域完結型の取り組みを、小学校区単位で行ってはどうか。
- A** 地域包括支援センターごとのネットワーク連絡会を中心に、顔の見える連携を進めるとともに、小学校区程度での取り組みも検討していく。

- して、仙山線の高速・安定化、仙台山形間の道路整備、山形新幹線の高速化などがあるが、整備の優先順位をどう考えているのか。
- A** 東南村山の3市2町で山形圏域奥羽新幹線整備実現同盟会の設置準備を進めている。また、仙山圏交通網整備調査を踏まえて関係機関との協議を行い、道路・鉄道両面で研

- Q** 次期高齢者保健福祉計画で、地域包括支援センターの配置計画に変更はあるか。
- A** 31年度に金井地区へ新たに地域包括支援センターを設置し、33年度をめどに鈴川地区を独立した一つの圏域にすることを検討している。
- Q** 霞城セントラルに移転する学習空間マナビの規模や整備計画はどうなるのか。
- A** 平成30年4月より23階の南側多目的コーナーを中心としたエリアに移転し、建物内にある県や市の機関と連携した事業も検討していく。
- Q** イノシシの頭数が増え、活動域が広がっている。住宅地への安全対策が必要だと思

- 究していく。
- Q** 学校改築や児童遊戯施設整備などを外部委託やPFI事業を進めていく方針だが、市の自立性や地元企業への影響をどう捉えているか。
- A** 財政負担の平準化やコスト削減などが図られるため、連続した事業展開が可能となり、地元へ発注される事業量

- Q** 高齢者への外出支援は、バス定期券への補助のほかに、タクシー券も選択できるようにしてはどうか。
- A** 国土交通省が実証実験を検討しているタクシー定期券の取り組みなどを研究し、高齢者の外出支援に向けた検討を行っている。
- Q** 廃止候補となっている都市計画道路千歳橋盃山線の代替路線の整備はできないのか。
- A** 地域と一緒に代替策の検討を進めている。代替路線の整備を行う際は、地域の理解が得られた箇所から実施していきたい。

- も増え、地域経済にも大きく寄与するものと捉えている。また、地元企業が受注できるような環境整備に努めていく。
- Q** 総合スポーツセンターの50m屋外プールを屋内化することで、競技力の向上と普及に努めてはどうか。
- A** 具体的な整備方法を、県なども検討・協議していく。

# 議会報告会を開催しました

第5回目となる議会報告会を平成29年11月に開催しました。今回は市内8カ所の公民館・コミュニティセンターで開催し、96人の皆さまにご参加いただきました。報告会では、9月定例会の議会活動の報告や参加された皆さまとの意見交換を行いました。

今回の報告会でお寄せいただいたご意見の一部を紹介します。

- ・高齢化率が高く、交通空白地域のため、さまざまな計画を策定する上では考慮してほしい。
- ・エネルギー政策として、市民や地域主体が共同で再生可能エネルギー発電設備の建設・運営を行う「市民・地域共同発電所」の導入に取り組んでもらいたい。
- ・西くるりと東くるりの循環バスを南北に延伸してほしい。
- ・紅花資料館を最上義光歴史館やまなび館などに設置してほしい。
- ・隣接した地区にも都市計画マスタープランの見直しの説明をしてほしい。
- ・安全安心なまちづくりは理解するが、町内会の負担にならないように実施すべきである。
- ・ごみ収集に必要な証紙を、コミュニティセンターで購入できるようにしてほしい。
- ・ふるさと納税の返礼品は、地域おこしになるようなものを採用してほしい。

お寄せいただいた貴重なご意見は、全議員で共有するとともに、議会活動を通して今後の山形市の発展につなげていきたいと考えております。ご参加いただいた皆さま、誠にありがとうございました。



## 議会報研修会に参加



▲正確にわかりやすく伝えるための手法を学びました

平成29年11月9日に、県市議会議長会主催の議会報研修会が長井市で開催され、本市議会の議会報委員5人が参加しました。

株式会社山形新聞社 長井支社長の松田直樹氏を講師に迎え、「読みたくなる議会報づくり」の演題で行われました。

記事を書く上で「最大多数の読者の最大関心は何か」、「伝えるべき焦点は何か」を判断することが大切であることや、見出しの付け方・レイアウトのポイントなどを学びました。今回の研修成果を生かし、今後も市民目線で、よりわかりやすく・読みたくなる議会報の作成に努めてまいります。

新しい年を迎え、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今年の冬も各地でイベントが行われております。樹氷ライトアップや、女子スキージャンプワールドカップ、その中でも1月10日初市の夜に霞城公園で行われた冬の花火大会は、山形の冬を盛り上げる一大イベントになりつつあります。また、2月23日から25日に蔵王でも花火の打ち上げが予定されております。今後も冬の山形をご堪能ください。あと1年数カ月で平成の年号が変わります。新しい年号がどうなるのか、今年はそのような年になるのか。皆さまにとってより良い一年になりますことをお祈り申し上げます。

議会報委員 浅野 弥史

### 編集後記

### スマホで視聴できます

スマートフォン・タブレットで議会が視聴できます。お気軽にご活用ください。



### ウェブサイト

山形市議会 中継 で 検索